

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業		
(2) 実施団体名	財団法人 高岡地域地場産業センター	(3) 対象地域	富山県高岡市
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	高岡市役所

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	文化財等修理技術者講座の開催	
	実施主体	主担当：(財)高岡地域地場産業センター、(国)富山大学芸術文化学部	
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：「金工」と「漆工」の修理を教材とした実践的な文化財修理講習会</li> <li>・実施時期：平成20年10月上旬～11月中旬</li> <li>・実施場所：「金工」当センター内の文化財修理工房、「漆工」当センター内の多目的研修室</li> <li>・取組の目的：文化財修理技術者の育成、増加と伝統技術の継承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：《金工部門講習会》文化財指定曳山の飾り金具のレプリカ制作</li> <li>・実施時期：平成20年11月2日(日)、9日(日)、29日(土)、30日(日)4回</li> <li>・対象者：相応の技術水準にある若手金工技術者6名。</li> <li>・実施場所：高岡市デザイン・工芸センター工房、センター内文化財修理工房</li> <li>・実施内容：《漆工部門講習会》人間国宝を講師に招聘し講演会開催</li> <li>・実施時期：平成21年12月8日(月)</li> <li>・対象者：工芸技術者、漆工芸専攻学生等72名。</li> <li>・実施場所：富山大学芸術文化学部講堂</li> <li>・取組の結果：伝統技術の継承と最高水準の文化財修理技術公開の機会確保。</li> </ul>
	<b>取組②</b>	市民文化・ものづくりフォーラム／出前セミナー の開催	
	実施主体	主担当：(財)高岡地域地場産業センター	
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：市民向け歴史文化とものづくりフォーラム</li> <li>・実施時期：平成21年1月下旬</li> <li>・実施場所：東海地区の祭屋台等の所有地域</li> <li>・出前セミナー：文化財指定の曳山や屋台を多数保存する地域を訪れ、高岡の修理技術についてアピールし、商談を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：「市民文化・ものづくりフォーラム・ものづくりの歴史と高岡(文化財修復と創作に生きる高岡の技)」をテーマに、問題提起・パネルディスカッション・基調講演の3部構成</li> <li>・実施時期：平成21年2月1日(日)で予定</li> <li>・対象者：工芸技術者、企業経営者、保存会員や市民など300名</li> <li>・実施場所：高岡生涯学習センターホール</li> <li>・実施内容：「出前セミナー」修理需要開拓のためDVDやPRパンフレットを携え、技術力をアピール</li> <li>・実施時期：平成21年2月下旬(1泊2日)で予定</li> <li>・実施場所：東海地区の曳山保存団体集会場など</li> <li>・取り組みの結果：高岡の技術と信頼を得、今後の商談に繋がった(予定)。</li> </ul>
	<b>取組③</b>	祭屋台・大型モニュメント等修理メンテナンス産業ビジネスツールの開発	
	実施主体	主担当：(財)高岡地域地場産業センター、(財)北陸経済研究所(再委託)、株式会社アキデザイン(再委託)	
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：修理メンテナンス需要調査(祭屋台・モニュメント)再委託</li> <li>・実施時期：平成20年10月～21年2月</li> <li>・アンケートの対象者：祭屋台保存団体、市町村教育委員会、都道府県公園所管部署</li> <li>・実施内容：受発注システム開発と修理メンテナンス事業モデル策定(WG実施時期：H20年～H21年2月)</li> <li>・実施内容：修理メンテナンス事業の情報発信(WG実施時期：H20年10月～H21年2月)</li> <li>・製作は業者に再委託</li> <li>・実施内容：素材技術開発(モニュメント修理技術研究開発WG実施時期：H20年10月～H21年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：修理メンテナンス需要調査(祭屋台・モニュメント)アンケート調査は再委託</li> <li>・実施時期：平成20年10月～21年2月</li> <li>・アンケートの対象者：祭屋台保存団体、市町村教育委員会等 127団体／回収率36%、都道府県等公園所管部署 48団体／回収率71%</li> <li>・実施内容：受発注システム開発と修理メンテナンス事業モデル策定(WG実施時期：H20年～H21年2月)</li> <li>・実施内容：修理メンテナンス事業の情報発信(WG実施時期：H20年10月～H21年2月)</li> <li>・DVD100枚、PRパンフレット5000部製作は業者に再委託</li> <li>・実施内容：素材技術開発(モニュメント修理技術研究開発WG実施時期：H20年10月～H21年2月)</li> <li>・取り組みの結果：高岡での修理メンテナンス事業のあり方を示し、情報発信力を強化、産業界に積極的な動きをもたらした。</li> </ul>	

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業</b> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">           文化財修理技術者講座ワーキング委員会            役割: 講座・フォーラム内容の検討         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">           ビジネスプランチーム            役割: 事業プランの策定及びアンケート調査方針検討         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">           素材・技術開発チーム            役割: ブロンズ修理素材・技術の研究データの整理と開示         </div> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制: 実質5か月に満たない事業実施期間中に、三つのワーキンググループを同時平行的に運営するのは、事務局として委員のスケジュール調整や事務手続き等に苦勞し、プロジェクト全体のスケジュールにも影響した。</li> <li>・取組内容: 大型モニュメント修理メンテナンスの潜在需要調査対象が調査期間と費用の制約から公的施設が管理する物件に限定せざるを得なかった。</li> <li>・課題: 仏像修理の潜在需用の把握は産業界が取引先や寺院を通じて可能と思えるが、民間施設に設置のブロンズの全国調査については、組合などが予算を確保して地道にデータの集積を図り、修理メンテナンスの事業環境整備し産業として確立していくことが望まれる。</li> </ul>
(8)取組により得られた成果	H19		H20(当初予定していた目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭屋台製作修理技術者/文化庁が認定する文化財修理の有資格者 6名</li> <li>・ブロンズ修理を主体的事業として位置づける事業所 3社</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭屋台製作修理技術者(文化庁が認定する祭屋台等の文化財修理の有資格者) → 8名</li> <li>・ブロンズ修理を主体的事業として位置づける事業所 → 10社</li> </ul>
	H20(実際に得られた成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭屋台製作修理技術者(文化庁が認定する文化財修理の有資格者) 7名 (平成21年6月 予定)</li> <li>・ブロンズ修理を主体的事業として位置づける事業所 12社</li> <li>・高岡地域文化財等修理協会へ県内外の曳山保存会や文化財課等より見積もり依頼 5件 (内2件は21年度受注の見込み)</li> </ul>		
	○成果2→		
	H19		H20(当初予定していた目標)
H20(実際に得られた成果)			

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省点:修理メンテナンスが伝統産業にとって重要な営業分野である認識を産業界に喚起できたが、祭屋台等の文化財修理と大型モニュメントの修理メンテナンスという異質な内容を、修理メンテナンス産業という一つの括りの支援策は極初期段階のみ有効であり、今後の本格的な事業支援は各産業界毎に取組む必要がある。</li> <li>・反省点:産業界から大きな期待が寄せられた大型モニュメント修理メンテナンスの潜在需要調査対象が、調査期間と費用の制約から公的施設が管理する物件に限定せざるを得なかったことから、今後は適切な調査期間と十分な予算の確保による産業界の自主的な取組が必要である。</li> <li>・改善点:仏像修理の需用の把握は、産業界が取引先や寺院を通じて可能と思える。しかし、民間施設に設置のブロンズの全国調査については、当センターもしくは伝統産業の協同組合などが国・県などの補助金で予算を確保し、継続的にデータの集積を図り、適切な営業活動のもと、修理メンテナンスを産業として確立していくことが望まれる。</li> <li>・改善点:産業界に体系的な知見の乏しい祭屋台等文化財修理では引き続き当センターを中心に事業推進する一方、大型モニュメントの修理事業は産業界の自主的な活動に移行させ、より実態に即したスピード感ある産業振興を図る。</li> </ul>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p style="text-align: center;"><b>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</b></p> <p>平成21年度以降の取り組み内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成事業は、他機関の事業と連携し、実施する。</li> <li>○ビジネス支援事業は、地場産業センターにて検討を深め試行する。</li> </ul> <p>○人材育成に関しては、高岡市と包括連携協定を締結している[国]富山大学などの高等教育機関の協力を得るほか、石川県、(国)北陸先端科学技術大学院大学とも調整を図る。</p> <p>○本格的な事業展開（長期の目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地域:高岡地域(富山県西部地域:旧加賀藩)で実施する。</li> <li>また、能越産業観光事業との連携を図る。</li> <li>・実施時期:平成26年(北陸新幹線開業)までには金工・漆工のメッカとなる。</li> </ul> <p>・実施内容:メッカとなるべく(仮称)北陸新幹線新高岡駅で伝統の技術を活用し、元気再生のシンボルとして祭屋台の殿堂「御車山会館」に結びつけたい。</p>	<p style="text-align: center;"><b>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</b></p> <p>平成21年度以降の取り組み内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成事業は、他機関の事業と連携し、実施する。</li> <li>○ビジネス支援事業は、地場産業センターや関係組合にて検討を深め試行する。</li> <li>○当面事業費は県補助金、市助成金および修理売上げによる。(既に数件の受注見込みがある)</li> </ul> <p>○人材育成に関しては、高岡市と包括連携協定を締結している(国)富山大学の協力や、文化財修理の専門機関とも調整を図り、修理技術者の技術力向上とともに、(国)北陸先端科学技術大学院大学など産業支援マネジメント研究機関の協力を図り修理プロジェクト全体を監理できる人材を育成。</p> <p>○本格的な事業展開（長期の目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地域:高岡地域のみならず、井波や庄川を含めた富山県西部地域で実施。</li> </ul> <p>・実施時期:平成26年(北陸新幹線開業)までには、金工・漆工のメッカとなる。</p> <p>・実施内容:歴史まちづくり法に基づく歴史都市認定を目指すなかで、高岡の元気再生のシンボルとなる「御車山会館」の山町筋整備など、ものづくりの街・文化財修理の街としてのブランド力の高まりに期待したい。</p>

# 「文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業」 (富山県・高岡市)

平成20年度 地方の元気再生事業  
事業実施調書 参考資料

## ◆主な実施取組の内容◆

取組①：文化財修理技術者講座の開催  
実施主体：(財)高岡地域地場産業センター  
実施内容・結果：文化財修理の専門家による講習会を通じ、技術者養成。  
〈金工部門講習会〉文化財指定飾り金具のレプリカを制作。  
・若手技術者6名参加。  
〈漆工部門講習会〉人間国宝を招聘して講演会を実施。  
・技術者や学生等72名聴講。

→ 金工部門講習会風景



↑ 御車山金具(レプリカ)完成品



漆工部門講習会風景→

取組：②祭屋台・山鉾・モニュメント等修理メンテナンス産業ビジネスツールの開発。  
実施主体：(財)高岡地域地場産業センター  
実施内容・結果：◆受発注システム開発と修理メンテナンスビジネスモデルの策定。・WG委員6名にて2月末までに作成予定。  
◆修理メンテナンス素材・技術の整理と開示。・WG委員5名にてブロンズの破損修理の実証実験。  
◆修理メンテナンス需要調査(外部委託事業)・2月上旬納入予定。  
◆PRパンフレット、DVD制作(外部委託事業)・1月下旬納入予定。



↑ WG委員会の会議風景



← 曳山修理現地目視調査

## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

成果：生産一辺倒の業態に厚みをもたせるため、文化財や大型モニュメントの修理・メンテナンスを新たな産業として立ち上げようとの本事業に対する産業界の関心は高く、殊に、大型モニュメントの修理・メンテナンス需要調査データ開示とともに、受注窓口は、是非当組合にとの強い要請があった。また、文化財修理については、昨年設立した高岡地域文化財等修理協会に、県内外4カ所より曳山修理の見積もり要請が来るなど修理メンテナンス産業創出に向けた動きは順調な滑り出しを見せている。当提案以後、大型ブロンズ修理メンテナンスを主体的事業と位置づけHPを立ち上げた企業が増え、併せて12社となった。  
今後の展開：大学との連携も活用し、修理メンテナンス技術を有する人材と伝統工芸産業のマネージメントができる人材を育成。平成26年度までに金工・漆工技術のメッカとして認められる高岡市を実現する。